



大英産業株式会社

2026年9月期 第1四半期 決算説明資料

目次

- 1** 2026年9月期第1四半期 決算ハイライト
- 2** 会社概要
- 3** 2026年9月期第1四半期 業績報告
- 4** トピックス(2025年10月～2025年12月)
- 5** 中期業績目標(2028年9月期)
- 6** 株主還元

■分譲マンションの引渡し増により、売上高は5,418百万円(前年同期比125.9%)

- ▶ 分譲マンションの売上高が前年同期から大きく伸長し、全社の増収を牽引

■売上総利益は952百万円(同120.1%)と増加し、営業損失は△365百万円へ縮小

- ▶ 増収に伴う売上総利益の積み上げが販管費及び一般管理費の増加を上回り、損失幅は改善

■分譲住宅事業・不動産流通事業で利益率が改善し、収益性が向上

- ▶ 分譲住宅事業は売上総利益率21.0%、不動産流通事業は売上総利益率16.2%へ改善

目次

1 2026年9月期第1四半期 決算ハイライト

2 会社概要

3 2026年9月期第1四半期 業績報告

4 トピックス(2025年10月～2025年12月)

5 中期業績目標(2028年9月期)

6 株主還元

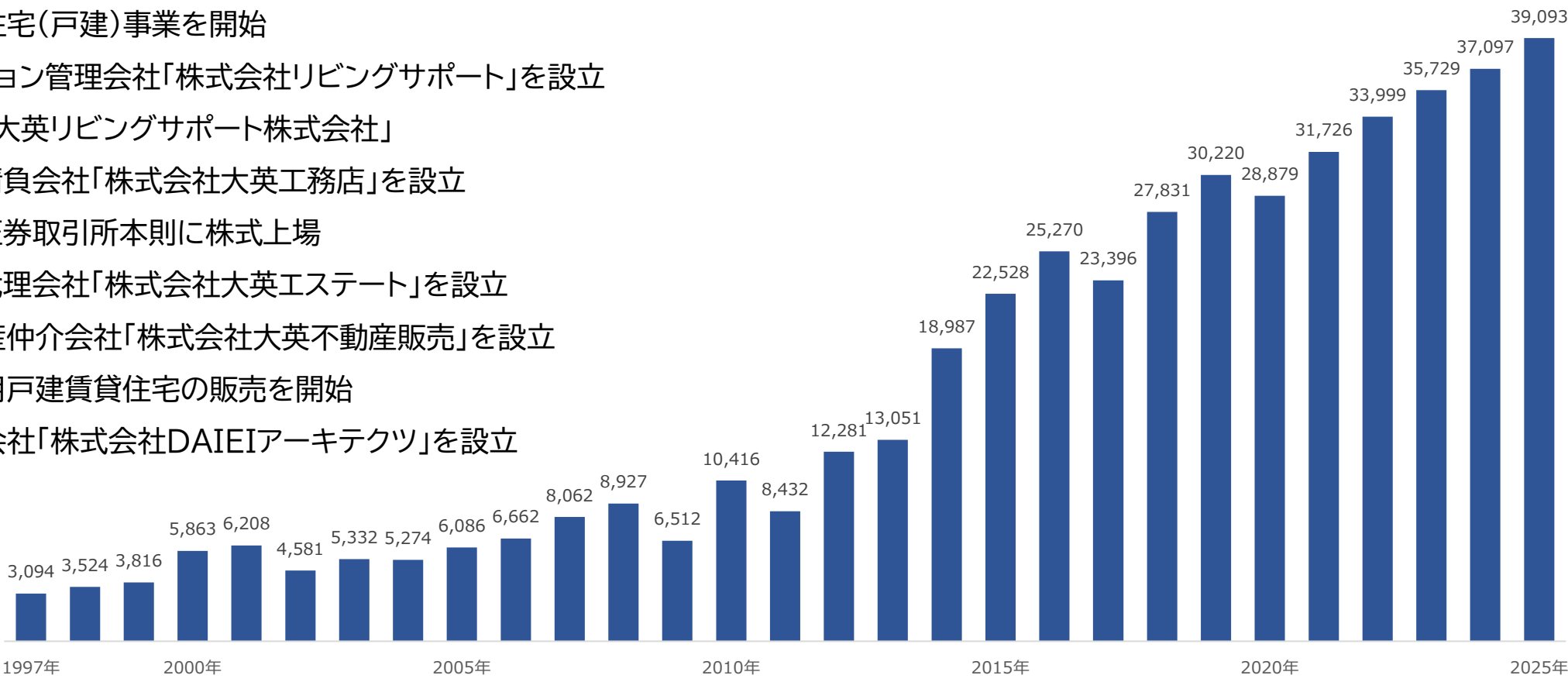
会社概要

商 号	大英産業株式会社
会 社 設 立	1968年11月28日
所 在 地	福岡県北九州市八幡西区下上津役4丁目1番36号
代 表 者	代表取締役社長 一ノ瀬 謙二
資 本 金	3億3,743万円(2026年1月31日)
	※四半期連結財務諸表（2025年12月31日時点）とは算定時点が異なる。
直 近 売 上 高	390億円(2025年9月期)
従 業 員 数	459名(2025年12月31日)
	※就業規程の改定により「アルバイト」を「パート」に呼称統一、従業員数に旧アルバイト人数も含む。
子 会 社	大英リビングサポート株式会社 株式会社大英工務店 株式会社大英エステート 株式会社大英不動産販売 株式会社DAIEIアーキテクツ

沿革

- 1968年 創業
 - 宅地の造成・販売、分譲住宅の販売を開始
- 1986年 分譲マンション事業を開始
- 2003年 中古住宅の販売、不動産仲介業を開始
- 2004年 リフォーム事業を開始
- 2009年 分譲住宅(戸建)事業を開始
- 2010年 マンション管理会社「株式会社リビングサポート」を設立
 - ※現「大英リビングサポート株式会社」
- 2017年 工事請負会社「株式会社大英工務店」を設立
- 2019年 福岡証券取引所本則に株式上場
- 2021年 販売代理会社「株式会社大英エステート」を設立
 - 不動産仲介会社「株式会社大英不動産販売」を設立
 - 投資用戸建賃貸住宅の販売を開始
- 2024年 建築会社「株式会社DAIEIアーキテクト」を設立

売上高推移
(金額:百万円)





経営理念

元気な街、心豊かな暮らし

ミッション

ライフスタイルに合った良質な「すまい」を提供し
持続的に発展する「まち」をつくる

経営方針

地域愛着経営



分譲マンション事業

九州・山口エリアにて「サンパークマンション」と、コンパクトマンション「サンレリウス」の新築分譲マンションシリーズを展開



分譲住宅(戸建)事業

福岡・佐賀・熊本・山口の各県にて新築一戸建て住宅を展開
新築一戸建てのオプション工事や既存住宅のリフォームまで
トータルで提案するすまいサポート事業も展開



不動産流通(中古住宅の買取再販)事業

北九州市を中心とした福岡・熊本の各県にて
中古住宅を買い取り、リフォームを行い
付加価値を高めて再販する事業を展開



街づくり事業

投資用の戸建賃貸住宅、事業用不動産や大型土地の販売、
賃貸アパートや宿泊施設の開発・販売など
幅広い顧客層に向けた不動産商品を展開

事業展開エリア

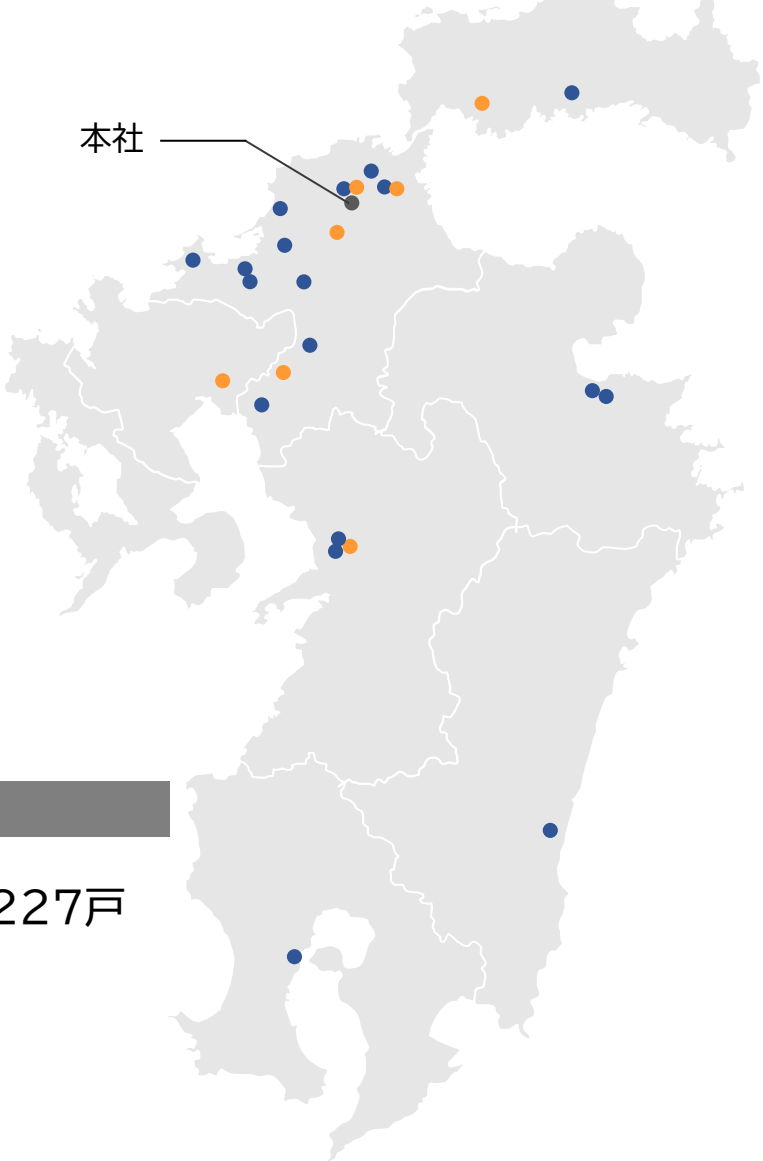
九州・山口エリアにて「住宅・不動産」を中心とした事業を展開
「地域愛着経営」で持続的な成長を目指す

住宅事業店舗

- イオンタウン黒崎店
- 小倉南店
- 飯塚店
- 久留米店
- 宇部店
- 佐賀店
- 熊本店

供給実績(2025年9月末)

分譲マンション 総供給数 11,227戸
分譲住宅 総供給数 5,624戸



マンションギャラリー

- サンパークマンション小倉ギャラリー
- サンパークマンション八幡ギャラリー
- サンパークマンション福岡ギャラリー
- サンパークマンション福岡西ギャラリー
- サンパークマンション久留米ギャラリー
- サンパークマンション筑紫野ギャラリー
- サンパークマンション新宮ギャラリー
- サンパーク糸島グレースマンションギャラリー
- サンパーク柳川駅レジデンス販売センター
- サンパークマンション熊本ギャラリー
- サンパーク天保山グレースマンションギャラリー
- サンパーク下郡グレース販売センター
- サンパーク防府駅EXIA(DAIEI防府駅販売センター)

大英リビングサポート株式会社 事業所

本社、北九州市小倉、福岡、熊本、大分、宮崎

目次

- 1 2026年9月期第1四半期 決算ハイライト
- 2 会社概要
- 3 2026年9月期第1四半期 業績報告**
- 4 トピックス(2025年10月～2025年12月)
- 5 中期業績目標(2028年9月期)
- 6 株主還元

2026年9月期第1四半期 連結損益計算書

	2025年9月期第1四半期		2026年9月期第1四半期		前年同期比
	金額(百万円)	構成比	金額(百万円)	構成比	
売上高	4,305	100.0%	5,418	100.0%	125.9%
売上総利益	793	18.4%	952	17.6%	120.1%
販売費及び一般管理費	1,240	28.8%	1,318	24.3%	106.2%
営業損失(△)	△447	-	△365	-	-
経常損失(△)	△550	-	△483	-	-
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)	△378	-	△404	-	-

※金額:百万円以下切り捨て、%:小数点第2位四捨五入

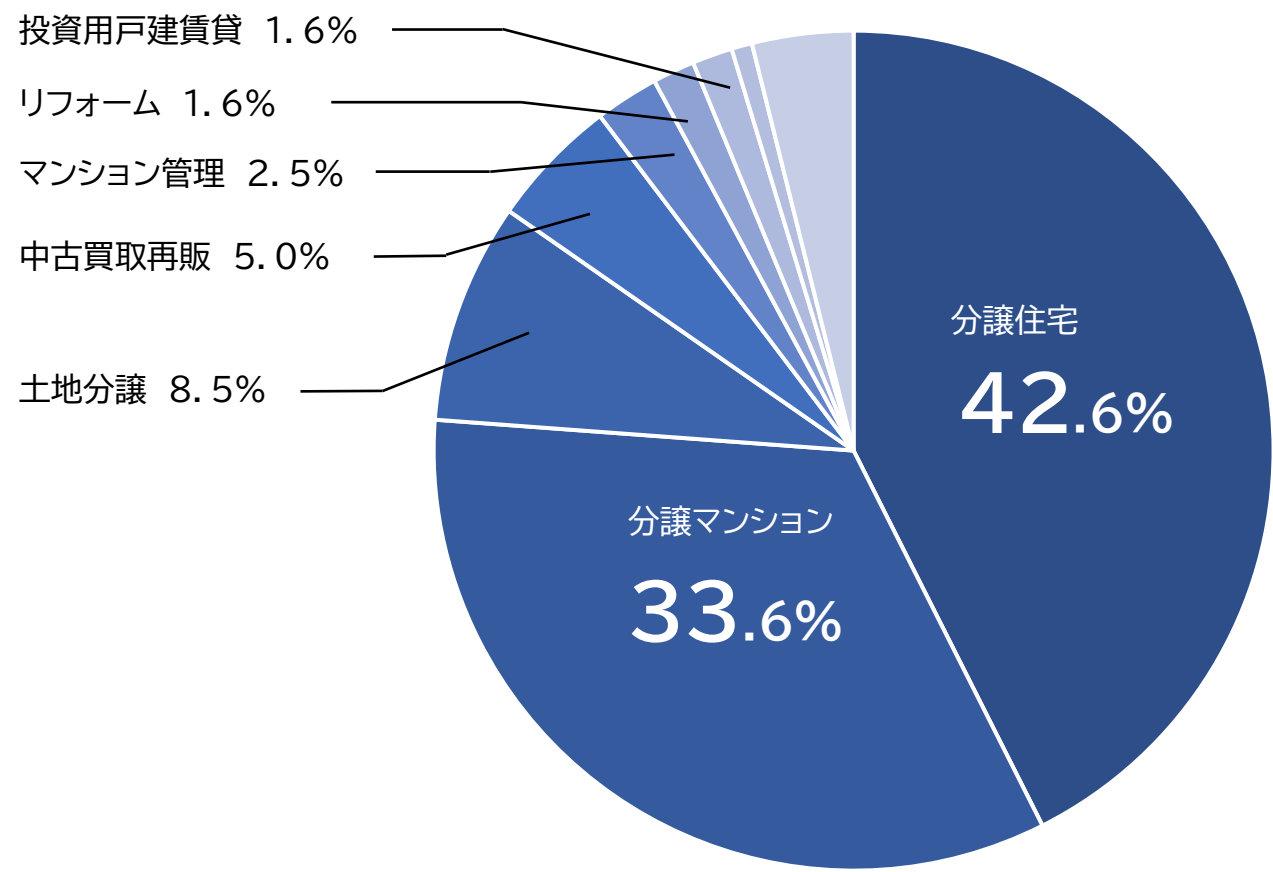
当第1四半期は、売上高5,418百万円(前年同期比125.9%)、売上総利益952百万円(同120.1%)と増加。販売促進施策の影響等に加え、商品別売上構成の変化もあり、売上総利益率は前年同期から低下したものの、売上総利益の増加が販売費及び一般管理費の増加を上回ったことから、営業損失等の損失幅は縮小。

2026年9月期第1四半期 事業別売上高

(金額:百万円)		2025年9月期 第1四半期	2026年9月期 第1四半期	増減額	前年同期比
マンション事業	計	774	1,966	1,191	253.7%
	分譲マンション事業	667	1,830	1,163	274.3%
	マンション管理事業	107	135	28	126.1%
住宅事業	計	3,505	3,412	△93	97.3%
	分譲住宅(戸建)事業	2,414	2,649	235	109.8%
	不動産流通事業	612	370	△241	60.5%
	街づくり事業	309	152	△157	49.1%
	すまいサポート事業	101	135	33	133.3%
	宿泊施設事業	39	43	4	111.1%
	その他	28	60	32	213.2%
その他(温泉管理・賃貸管理)		24	39	15	163.2%
合計		4,305	5,418	1,112	125.9%

マンション事業セグメントの売上高は、分譲マンションの引渡し戸数の増加により、前年同期比で253.7%と増加。
住宅事業セグメントの売上高は、分譲住宅の販売が堅調に推移したものの、中古住宅の買取再販や事業用土地分譲等の売上戸数が減少したことにより、前年同期比97.3%となった。

商品別 売上高構成比率



商品別 売上高(百万円)

分譲住宅(戸建)	2,305
分譲マンション	1,819
土地分譲	460
中古買取再販	271
マンション管理	133
リフォーム	88
投資用戸建賃貸住宅	84
アパート工事請負	50
宿泊施設	43
その他	211
合計	5,418

商品別では、分譲住宅が2,305百万円(構成比42.6%)、分譲マンションが1,819百万円(同33.6%)となり、両商品で売上高の76%を占めた。また、管理棟数の増加を背景にマンション管理が伸長。

(金額:百万円)	2026年9月期第2四半期累計予想	2026年9月期通期予想
売上高	13,867	37,641
営業利益または営業損失	△342	1,279
経常利益または経常損失	△591	754
親会社株主に帰属する 当期純利益または純損失	△414	466

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
竣工予定棟数	1棟	2棟	3棟	5棟

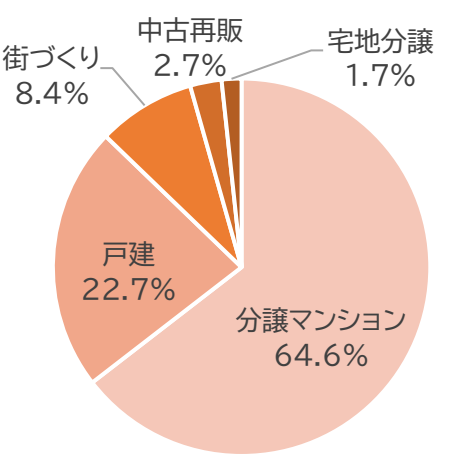
分譲マンションの竣工・引渡しが第3四半期および第4四半期に集中する計画であるため、
通期では営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益ともに黒字転換の見込み。

2026年9月期第1四半期 貸借対照表

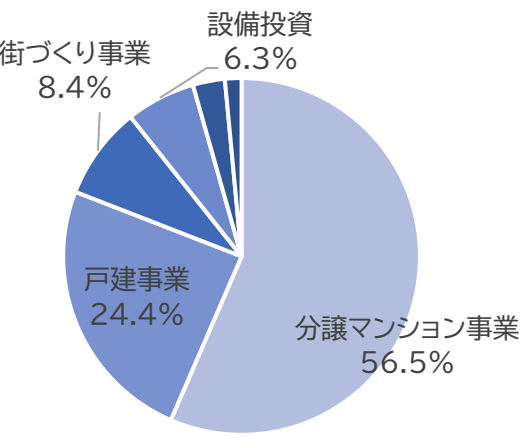
(金額:百万円)	2025年 9月30日	2026年 12月31日	増減額
流動資産 合計	43,046	40,849	△2,196
現金・預金	9,933	5,041	△4,891
販売用不動産	8,691	8,984	292
仕掛販売用不動産	22,999	25,720	2,720
その他	1,421	1,102	△323
固定資産 合計	4,218	4,362	144
有形固定資産	3,779	3,807	27
無形固定資産	24	20	△3
投資その他の資産	413	534	120
資産 合計	47,264	45,212	△2,051

	2025年 9月30日	2026年 12月31日	増減額
流動負債 合計	28,540	24,086	△4,453
支払手形・買掛金	3,832	1,002	△2,830
短期借入金	13,366	14,058	691
1年以内返済借入金	7,356	7,195	△161
その他	3,985	1,831	△2,154
固定負債 合計	9,900	12,745	2,844
長期借入金	9,373	12,214	2,840
その他	527	530	3
純資産	8,822	8,380	△442
負債純資産合計	47,264	45,212	△2,051

仕掛・販売用不動産内訳(商品別)
合計 34,704百万円



有利子負債内訳(事業別)
合計 33,467百万円

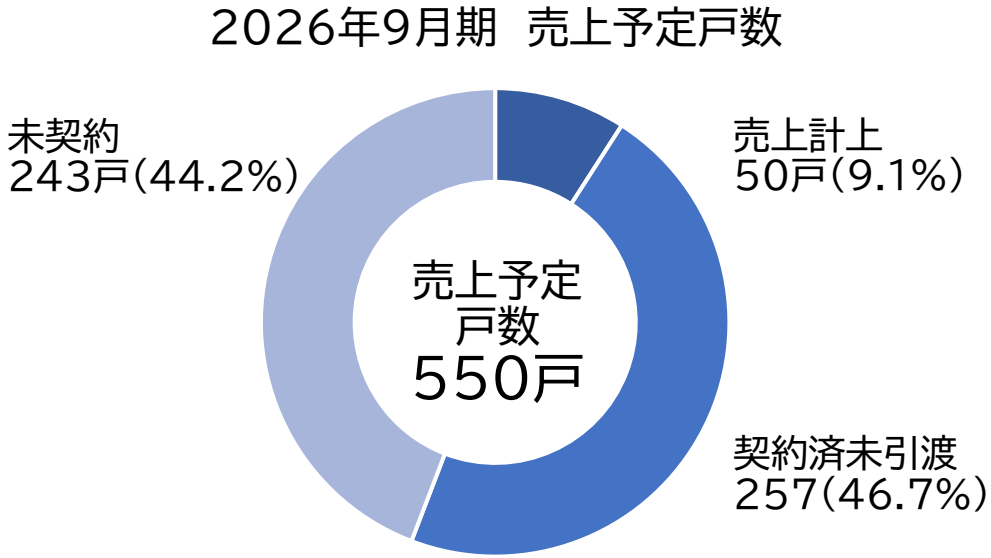


投資用不動産の取得および福岡市内を中心とする分譲マンション用地の仕入れを進めた結果、販売用および仕掛販売用不動産が増加。
また、中期経営目標を見据えた分譲マンション用地の仕入れにより長期借入金が増加し、純資産は当期純損失の計上等により減少。

分譲マンション事業 業績

	2025年9月期 第1四半期		2026年9月期 第1四半期		前年同期比
	金額(百万円)	構成比	金額(百万円)	構成比	
売上高	667	100.0%	1,830	100.0%	274.3%
売上総利益	115	17.6%	277	15.1%	240.8%
営業利益	△212	-	△107	-	-

※事業別の営業利益は、本部等の非生産部門の経費を含まない



引渡し進捗により大幅増収、営業損失は縮小

前期末に竣工した「ザ・サンパーク小倉駅タワーレジデンス」、当第1四半期に竣工した「サンパーク天保山グラッセ」等の引渡しが進捗し、売上高は1,830百万円(前年同期比274.3%)と大幅に増加。
販売促進施策の影響等で売上総利益率は低下したものの、売上総利益の増加により営業損失は前年同期から縮小。
また、通期の売上計上予定550戸に対し、契約は売上計上済みを含めて55%が進捗。

分譲マンション事業



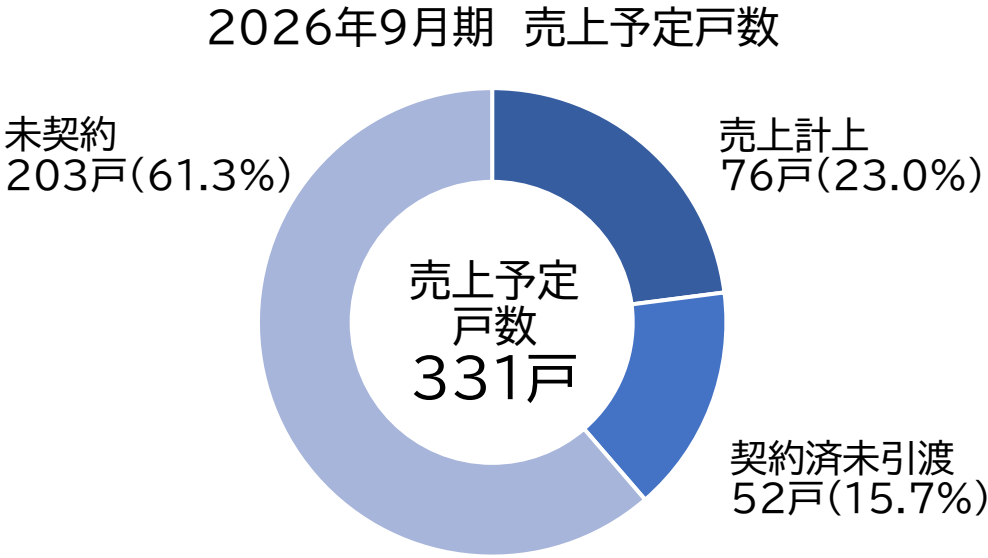
当期販売物件一覧(2026年12月末時点)

事業エリア	物件名	総戸数	竣工時期
福岡県	ザ・サンパーク春日原駅レジデンス	36	竣工済
	サンパーク博多那珂グラッセ	55	竣工済【完売】
	サンパーク柳川駅レジデンス	59	竣工済
	サンパーク都府楼前駅グラッセ	45	竣工済
	ザ・サンパーク小倉駅タワーレジデンス	150	竣工済【完売】
	サンレリウス小倉片野ネクスト	56	竣工済
	サンレリウス三萩野	56	2026年9月期
	サンレリウス戸畑駅	56	2026年9月期
	サンパーク二日市駅グラッセ	52	2026年9月期
	サンパーク糸島グラッセ	39	2026年9月期
	サンパーク新宮EXIA West- I II, East	96	2026年9月期
	サンパークシティ香椎	90	2027年9月期【完売】
	ザ・サンパーク西新	24	2027年9月期
	ザ・サンパーク姪浜	42	2027年9月期
	サンパーク春日原駅グラッセ	33	2027年9月期
	サンパーク春日原駅EXIA	52	2027年9月期
	サンパーク諏訪野レジデンス	55	2027年9月期
大分県	サンパーク下郡グラッセ	55	竣工済
熊本県	サンパーク新大江グラッセ	52	2026年9月期
	サンパーク大江東グラッセ	52	2026年9月期
	サンパーク桜町レジデンス	50	2026年9月期
鹿児島県	サンパーク天保山グラッセ	36	竣工済
山口県	サンパーク防府駅EXIA	66	竣工済

分譲住宅(戸建)事業 業績

	2025年9月期 第1四半期		2026年9月期 第1四半期		前年同期比
	金額(百万円)	構成比	金額(百万円)	構成比	
売上高	2,414	100.0%	2,649	100.0%	109.8%
売上総利益	453	18.8%	557	21.0%	122.9%
営業利益	199	8.3%	313	11.8%	157.5%

※事業別の営業利益は、本部等の非生産部門の経費を含まない

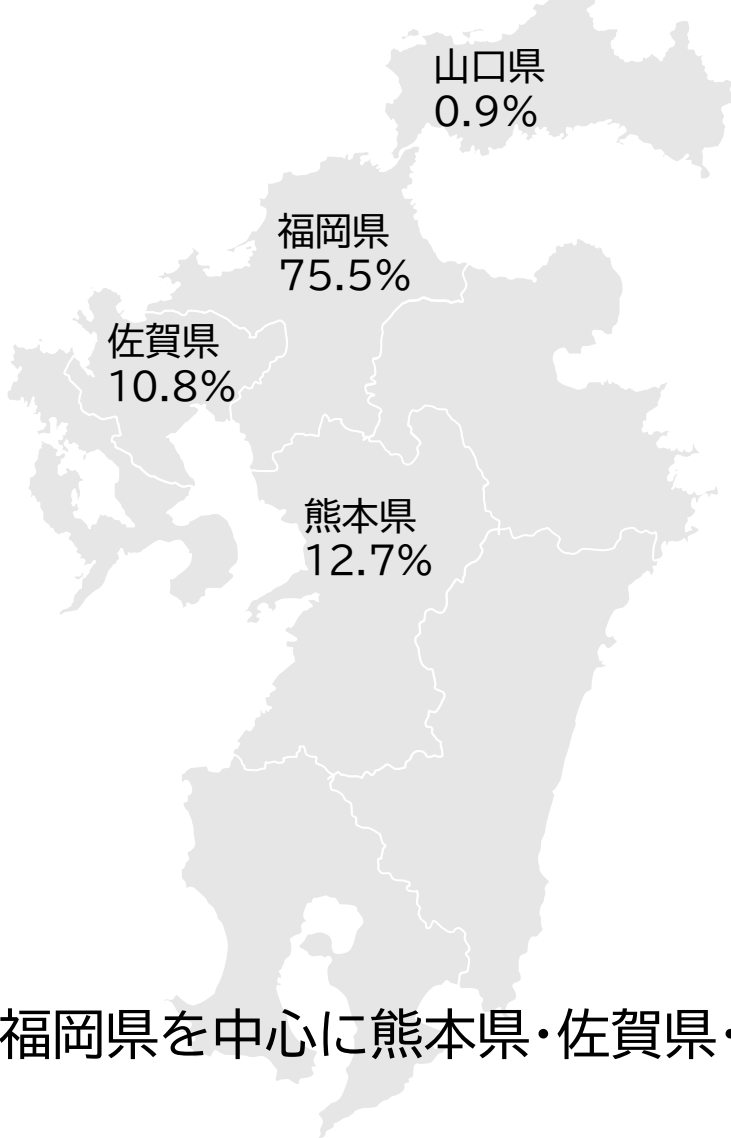


商品力強化で粗利率改善、増収増益

売上計上戸数は76戸(前年同期73戸)となり、売上高は2,649百万円(前年同期比109.8%)に増加。
厳選した土地の仕入れや商品力強化により、原価上昇分の価格転嫁が進み売上総利益率は21.0%へ改善。
加えて、販売費及び一般管理費の抑制により、営業利益は313百万円(同157.5%)と増益。
契約済未引渡分の引渡しを進めるとともに、通期売上予定331戸の達成に向け販売・商品戦略を継続する。

分譲住宅(戸建)事業

事業エリア別 売上高構成比
(2026年9月期第1四半期)



商品ラインナップ

ONEHOUSE



3つのデザインを軸に、外観・内装・外構までトータルコーディネートした家。

SUN COURT



価格も暮らしやすさも叶えてくれる、こだわりをつめこんだ選ばれる続ける家。

ARCHI DAYS



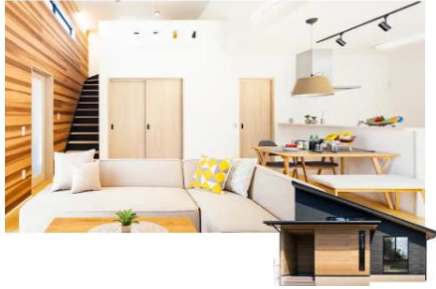
ロジックとデザインを融合した、美的価値と快適な暮らしを提供する家。

the park



遊びごころにこだわった、家族みんなが居心地の良い場所を見つけられる家。

hidamari



心地いい「ゆったりとした暮らし」を叶えてくれる、光あふれる平屋の家。

福岡県を中心に熊本県・佐賀県・山口県にて、顧客ニーズに合わせた5つの商品ラインナップを展開

不動産流通事業 業績

	2025年9月期 第1四半期		2026年9月期 第1四半期		前年同期比
	金額(百万円)	構成比	金額(百万円)	構成比	
売上高	612	100.0%	370	100.0%	60.5%
売上総利益	38	6.3%	60	16.2%	155.7%
営業利益	△27	-	25	7.0%	-

※事業別の営業利益は、本部等の非生産部門の経費を含まない

中古住宅にリフォームを施し付加価値を高めて再販



売上戸数減も、利益率改善で営業利益はプラスへ

売上計上戸数は16戸(前年同期26戸)となり、売上高は370百万円(前年同期比60.5%)と減少。
一方で、仕入れの厳選およびリフォームによる付加価値向上により、売上総利益率は16.2%へ大幅に改善。
販売費及び一般管理費の抑制も寄与して、営業利益は25百万円(前年同期は営業損失)へ転じた。
引き続き、収益性を重視した運営により利益の積み上げを図る。

街づくり事業 業績

	2025年9月期 第1四半期		2026年9月期 第1四半期		前年同期比
	金額(百万円)	構成比	金額(百万円)	構成比	
売上高	309	100.0%	152	100.0%	49.1%
売上総利益	78	25.4%	30	19.7%	38.1%
営業利益	14	4.8%	△56	-	-

※事業別の営業利益は、本部等の非生産部門の経費を含まない

街づくり事業の商品ラインナップ

事業用不動産・土地



法人向けの不動産及び大型の土地分譲を展開

投資用の戸建賃貸住宅



安定した入居需要と高い収益性を備えた投資用商品

賃貸アパート等の工事請負



用地提供から特定建築物の建築までをトータル提案

賃貸住宅の運営



運営安定収益の拡大を目指し、賃貸住宅を保有


引渡し減少、次四半期以降の収益化に向け商品展開を推進

事業用不動産等の引渡し数が前年同期を下回り、売上高は152百万円(前年同期比49.1%)と減少。売上総利益は30百万円(同38.1%)となり、売上総利益率は19.7%(前年同期25.4%)へ低下。売上減少による固定費負担率の上昇等で、営業損失56百万円(前年同期は営業利益14百万円)となった。多様な商品ラインナップを活用し、収益機会の拡大に取り組む。

目次

- 1 2026年9月期第1四半期 決算ハイライト
- 2 会社概要
- 3 2026年9月期第1四半期 業績報告
- 4 トピックス(2025年10月～2025年12月)**
- 5 中期業績目標(2028年9月期)
- 6 株主還元

TOPICS 1 福岡県内の分譲マンション3棟が完売



福岡県福岡市にて分譲した「サンパーク博多那珂グラッセ」「サンパークシティ香椎(竣工前完売)」と、福岡県北九州市にて分譲した大型物件「ザ・サンパーク小倉駅タワーレジデンス」の3棟が完売

TOPICS 2 地域産木材の施工、活用拡大



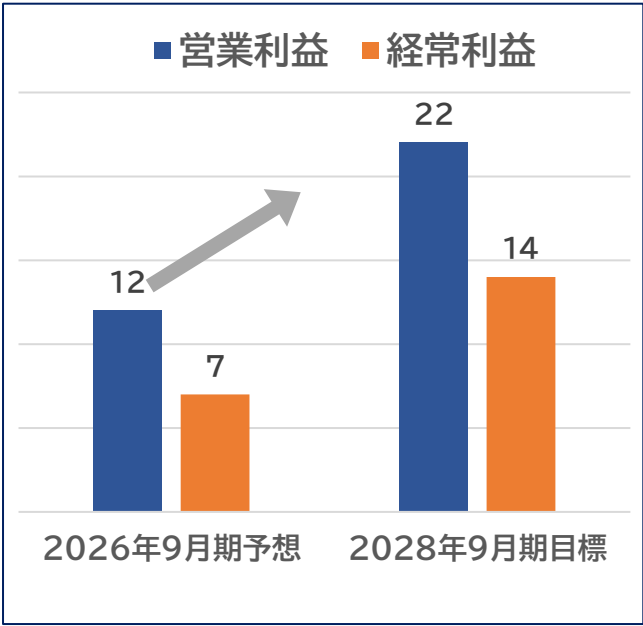
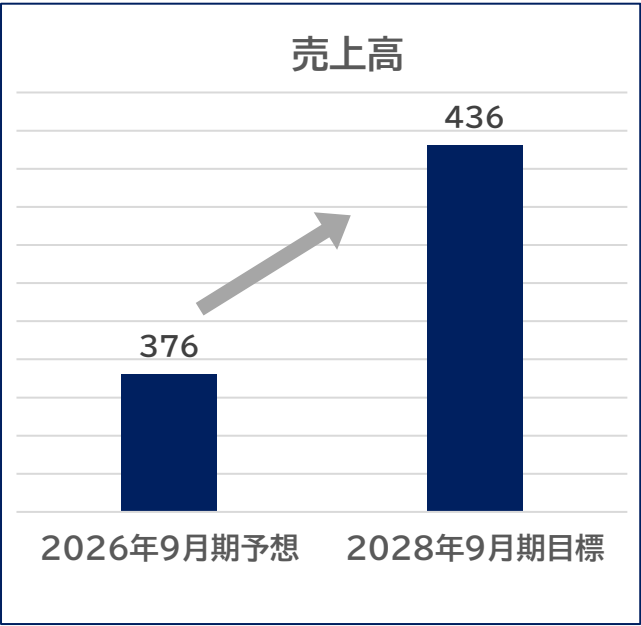
地域イベントの木造やぐら、区役所内ラウンジスペースのテーブル・椅子、SDGs国連会議のフォトスポット等
北九州市産木材「KiTAQ WOOD」の施工、活用が拡大

目次

- 1 2026年9月期第1四半期 決算ハイライト
- 2 会社概要
- 3 2026年9月期第1四半期 業績報告
- 4 トピックス(2025年10月～2025年12月)
- 5 中期業績目標(2028年9月期)**
- 6 株主還元

2028年9月期(第60期)を最終年度とする中期業績目標

	2028年9月期目標
売上高(億円)	436
営業利益(億円)	22
経常利益(億円)	14
自己資本比率	20.3%



「既存の事業モデルの見直し」「法人・富裕層向け事業の拡大による事業ポートフォリオの変革」
「DX推進等による生産性の向上」に取り組み、利益率の向上と安定した財務基盤の構築を図ること
で持続的な成長を目指す。

目次

- 1 2026年9月期第1四半期 決算ハイライト
- 2 会社概要
- 3 2026年9月期第1四半期 業績報告
- 4 トピックス(2025年10月～2025年12月)
- 5 中期業績目標(2028年9月期)
- 6 株主還元**

株式の状況

取	引	所	福岡証券取引所本則(2019年6月4日上場)		
証	券	コ	ー	ド	福証本則:2974
発	行	株	式	数	3,323,400株(1月31日時点)
株				価	935円(2月2日時点)

単元株数	100株	
P E R (株価収益率)	4.85倍	※(1)
P B R (株価純資産倍率)	0.35倍	※(2)
1株当たり配当金	24.0円	
配当利回り	2.57%	※(3)

※(1)PERは2025年9月期決算数値における、1株当たり当期純利益192.84円に基づき上記株価で計算
※(2)PBRは2025年9月期決算数値における、1株当たり純資産額2660.18円に基づき上記株価で計算
※(3)配当利回りは、2025年9月期配当予定24円、2月2日の株価にて算出

株主様への利益還元について

■ 配当金

2026年9月期(予想)	1株当たり 24円(予想) 中間配当(3月末日)12円、期末配当(9月末日)12円
2025年9月期	1株当たり 24円 中間配当(3月末日)12円、期末配当(9月末日)12円
2024年9月期	1株当たり 23円 中間配当(3月末日)11円、期末配当(9月末日)12円

■ 株主優待

2026年9月期(予想)	100株～400株 1,000円分クオカード 保有期間2年以上の場合 2,000円分	500株～ 2,000円分クオカード 保有期間2年以上の場合 3,000円分
2025年9月期	100株～400株 1,000円分クオカード 保有期間2年以上の場合 2,000円分	500株～ 2,000円分クオカード 保有期間2年以上の場合 3,000円分
2024年9月期	100株～400株 1,000円分クオカード	500株～ 2,000円分クオカード

本資料について

本資料は、当社が現在入手している情報等に基づいており、
実現をお約束する趣旨のものではありません。
実際の業績等は経営環境の変化等により異なる可能性があります。

本資料に関するお問い合わせ先

経営企画室

TEL: 093-613-5659

<https://www.daieisangyo.co.jp/ir/form>